

【生徒の皆さんへ・困難を乗り越えるために】

令和2年5月11日（月）

廿日市中学校長 枝廣泰知

廿日市中学校の生徒の皆さん、元気にしていますか。

4月に学校が始まったばかりなのに再度の休校がさらに延長となり、皆さんもエネルギーを持て余している状況ではないでしょうか？

日本でも多くの方が新型コロナウイルスに感染して、命を落としたり症状がひどくなったりしています。

「人に害せず 自己を守り」、これは廿日市中学校の校訓の一節ですが、まさに今、感染を広げないために、自分が感染しないために、「ステイホーム」家にいることが求められています。

感染拡大が抑えられる状況となれば、皆さんも登校できるようになります。

皆さんが元気に登校してくれることが、私たち教職員の願いでもあります。

それまでは、今しかできないこと、今しなければならぬことを自分で考えて、一日一日を大切に過ごしてください。

自分は何をすべきか、何ができるか自分を見つめることが必要です。

時間の使い方は、そのままあなたの人生の使い方であり、それはあなたの命の使い方です。

社会は、感染を防止することと経済活動をはじめとして日常の生活に戻すこと、すなわち人の動きを止めるのか人の動きをつくるのかという簡単に解決するのが難しい問題を前にタイミングを計っています。

医療の現場では、医師や看護師をはじめ、関係者の皆さんが感染された方々の命を救おうと奮闘しておられます。

生徒の皆さんには、感謝する心を忘れず、思いやりと自制心を大切にすることを意識して、人に対して優しく、困難を乗り越えるために協調できる力をつけてもらいたいと思います。